

今月の一言 NO.215

キーワード：パーキンソンの法則 第2法則

第2法則：支出の額は、収入の額に達するまで膨張する

「以前に比べてお金の余裕ができたはずなのに、なぜか貯金ができない」というような意味合いになります。たとえば、もともと給料の手取りが15万円で生活していた人がいたとします。

その人は、「もう少し給料があれば貯金できるのになぁ」と思っていました。ところが、出世して手取りが30万円になっても、なぜか貯金が一切できなかったのです。つまり、15万円でも生活ができていたはずなのに、給料を多めに貰ったら貰った分だけ、ついつい使ってしまったわけですね。

この話を聞くと、「ただその人の金遣いが荒かっただけではないのか」と思うかもしれませんが。しかしパーキンソンの法則は心理学のようなもので、人であれば誰でもやっってしまう可能性のあるものなのです。

パーキンソンの第2法則に対しては、以下のような対策が効果的です。

多めのお金を持たない、持たせない、という対策を行いましょう。人は余分なお金を持っているからこそパーキンソンの第2法則が働き、そのお金を使ってしまいます。それなら最初から余分なお金は持たずにいることで、無駄な出費を抑えられるはずなのです。これに関しては、あなた自身にも言えますし、あなたの部下に対しても言えます。無駄な出費が多いなと感じたら、そもそも無駄なお金を持たない、持たせない、というところから改善してみましよう。

パーキンソンの法則は、特定の人にだけ働くものではなく、多くの人が持つ習慣のようなものです。そのため、無意識に時間やお金を無駄にしている人は、非常に多くいます。

一度自分や組織で見直そう！

令和元年11月25日

さいのう とおる

追伸：各自の目標達成に向けて、日々の行動を変えてみよう！一歩踏み出そう。